
フリーダム・マーセナリー

萌心

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フリーダム・マーセナリー

【Nコード】

N5478W

【作者名】

萌心

【あらすじ】

今より少し先の近未来の地球・・・

ある出来事がきっかけに、さらなる拡大を遂げる『PMC』（民間軍事会社）・・・

この物語は、ある小さな『PMC』所属の三人の傭兵の活躍や出来事を人間模様を、時にはシリアスに・・・時にはコミカルに・・・時にはハチャメチャな様子を描いた物語である。

キャラ紹介…メインキャラその1

ハンニバル・スペンサー

性別…男性

年齢…30歳

所属…民間軍事会社（PMC）エデン・セキュリティサービス

出身国…キューバ共和国 ハバナ市

国籍…アメリカ合衆国

軍歴…アメリカ陸軍 第75レンジャー連隊に所属し、所属後まもなくアフガニスタンに派遣され治安維持活動に従事しその後はアメリカ軍の軍事顧問団の一員としてコロンビアに派遣され、反政府ゲリラへの掃討作戦や現地政府軍部隊に対テロ・対ゲリラ戦術の指導に従事しその後自主除隊（最終階級は一等軍曹）

生い立ち

フリージャーナリストの父と小学校教師である母との間にハンニバルは生まれた

平凡だけ両親の愛情を一杯受け幸せな生活を送っていたが、ハンニバルが5歳の時にハンニバルの父が記事にした政府当局によるジャーナリストへの不当逮捕や虐待疑惑に関する記事が当局の目に留まりハンニバルの父が拘束されそうになる事態が起き、ハンニバルの父は「このままでは自分だけではなく妻や息子にも危害が及ぶ」と考え、妻と息子と共にキューバ系アメリカ人財団（CANF）の協力・支援の下、隣国のアメリカ合衆国に亡命した

アメリカ亡命後もハンニバルの父はキューバ政府によるジャーナリストや活動家への弾圧関連の取材活動が続けハンニバルの母もそんな夫を支えながらアメリカでも教職者を続けた。

そんな事が遭っても幼きハンニバルはめげる事なく成長し逆に自分達を受け入れてくれたアメリカと言う国に恩を返したいと強く思っ

たのである（しかし同時に自分の母国であるキューバにも強い思いがあり、帰る事が出来るのであれば帰りたいと言う本音もある）

学生時代は成績優秀で友人も多く快適なスクールライフ送ったが、ある時、たまたま観ていたニュースで海外で起きた自爆テロ事件の報道を観たハンニバルはそれに大きな衝撃受け、自分に何か出来る事はないのかを考えそして彼は軍隊に入る事を決意する。

『水を得た魚の如く』の様な優秀な活躍をする彼だったが、彼の能力を買った秋風からのスカウト受けて今の職場に身を移す事になる。
性格・人格面

真面目で正義感は強く、面倒見は良い方である。

ただ、融通が利きにくく若干、柔軟性や即応性に欠ける所がある。
補足

因みに彼が一番尊敬している人物は、自分の名前にもなっているカルタゴの名将『ハンニバル』である。

作品内世界の出来事・その1

『第二次朝鮮戦争』

本編の5年ほど前に勃発した北朝鮮と韓国による戦争の一般的な名称である。

そもそもの事の発端は韓国国内で発生したある爆弾テロ事件にある。実はそのテロ事件により当時の韓国の副大統領が死亡する事態が発生し韓国政府はこれを副大統領の暗殺を狙ったテロとしそれを首謀したのが隣国の北朝鮮だと断言した。

北朝鮮政府側はこれを事実無根とし韓国政府による陰謀だと反論した、両国の政府官僚によるテロ事件に関する会談も行なわれたが、ともにお互いの主張を頑なに変えないまま、会談は平行線のままに終了した・・・

両国関係は悪化の一途たどり、そして事件から5週間後・・・突如、韓国軍の大部隊が軍事境界線を越えて北朝鮮側に進攻を開始した。

北朝鮮軍側も決死の防戦を展開し、緒戦では韓国軍に少なからずの損害を与え一時的に南側の境界線付近まで部隊を押し戻す事に成功した。

だが、兵力を除けば兵器の質や兵の練度、さらに制空権・制海権の掌握等においても韓国軍の方が圧倒的に優勢だった事もあり、進攻開始からわずか三日足らずで北朝鮮の首都・平壤を制圧・占領した。その後韓国軍は快進撃を続け、3週間後には山岳地域等の一部地域を除きほぼ全土の制圧に成功した。

さらに「核兵器」の搜索も行われ、20発の核搭載弾道ミサイルの発見・確保に成功したが・・・、核兵器関連施設で見つかった資料等によると、北朝鮮が保有する核兵器の数は30、つまりあと10の核兵器がまだ発見されておらずその行方も不明のままである。

軍事作戦が成功すると韓国政府は南北統一の準備を進め始めたが、

ここである国が異議を言い始めた・・・

中国が韓国政府の早急な南北統一は国家や国民の主権を著しく侵害し国境接する自国にも混乱きたすとして正式な抗議声明を発表した、さらに中国は北朝鮮領内に駐留する韓国軍部隊の撤退を求めてきた韓国政府も激しく反論したいところだが、過去の朝鮮戦争時の中国の派兵により悲惨な目に遭った苦い経験もある故に中国を下手に刺激して軍事介入の口実を作られたらたまったものではないという思いもあった

結果、韓国政府は中国側の要求をある程度受け入れ、南北統一は当面の間見送り北朝鮮の暫定統治を目的した「北朝鮮暫定統治機構（NKTGM）」を組織した

韓国軍部隊も全体の9割ほどを本国に帰還し残りの部隊は主に首都周辺での治安維持活動や旧軍事境界線等での警備活動に従事、そして全体の治安維持等は韓国政府が民間軍事会社や警備会社等に委託する事で懸念されていた治安維持の問題は解決された

PMC等が政府から請け負う主な任務は、1「国内の治安維持」2「旧北朝鮮軍残党部隊等の抵抗勢力の掃討や武装解除」3「中朝国境地帯の国境警備」4「残りの核兵器の搜索・確保」・・・この4つが主たる主要任務である

これらの活動でPMCは目覚ましい活躍をしPMC全体の評価・信用拡大に繋がった

• これが後のPMCのさらなる発展のきっかけなる出来事となった・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5478w/>

フリーダム・マーセナリー

2011年11月16日03時10分発行